

新・綱領教室 上・下
 2020年改定綱領を踏まえて
 志位 和夫 著
 定価 各1,500円(税別)
 新日本出版社 発行

福井民主新聞

発行所 日本共産党福井県委員会
 〒910-0015 福井市工の宮5-7-25
 電話0776(27)3800 FAX 0776(27)3803
 定価 月100円
 毎月3回 5.15.25日発行

軍拡より食料自給率上げる 憲法を守り育てる会

憲法記念日の3日、「憲法を守り育てる集会」が福井市のアオッサ県民ホールで開かれました。戦争する国づくり反対！福井総がかりアクションの主催。「岸田内閣は大軍拡をやめろ」と声を上げてデモ行進でもアピールしました。



東京大学大学院特任教授の鈴木宣弘氏が「食と農から考える憲法9条」と題して講演を行いました。ひつ迫を強める世界の食料需給に、「お金を輸出せよ」と訴え、輸入できる時代は終わらせた」と警鐘を鳴らした。

同時に「政府の責任で国産の食料を増産し備蓄する政策をきちんとやるべきだ」と強調。5年間で43兆円を費やす軍拡や、国産米より高い米の輸入を推進する自公政治を

企業団体献金 全面禁止を

北陸信越5県の日本共産党が一斉宣伝を実施した4月19日、福井県では、かねもと幸枝県書記長(衆院1区)を先頭に各地で宣伝に取り組み、裏金問題の幕引きを図り戦争する国づくりをひた走る自民党政治を終わらせるため「総選挙で日本共産党にご支援を」と訴えました。

を推進する自公政治を批判しました。カリブーベースで38%とされる日本の食料自給率については、化学肥料の原料や種子も考慮すれば実質10%を切ると告発。有事で物



かねもと氏は自民党派閥の裏金問題の幕引きを許さず、ウソをついたら偽証罪に問われる証人喚問を求めると

ともに、政治資金パーティーも含む企業団体献金の全面禁止法案と政党助成金廃止法案を国会に出していると訴え、「日本共産党は企業団体献金も政党助成金も受け取らない。だからこそ国民の声を真正面から受け止めて命・暮らしを守る政治の実現のために頑張ります」と強調しました。

平和行進6月22日県入り

原水爆禁止福井県協議会と同国民平和実行委員会が4月21日、福井市内で開かれ、核兵器禁止条

流がとまれば日本に餓死者が増える」と警告し、食料自給率の向上に背を向けた農業基本法改正を批判しました。福井市の男性(38)は「兼業農家ですが、

もうからないから妻から『もうやめろ』と言われてる。収入を補償されないとやっつけない。先生の言う通り、国の政策転換が大事故だ」と話しました。

物価上昇を超える引き上げを 賃金・年金 メーカー

メーカーの1日、福井県では、中央メーカー集会在福井市で、敦賀地区メーカー集会在敦賀市で開かれ、合わせて390人が参加し、「賃金・年金上げろ、生活守れ」と声を上げました。

福井市東公園で開かれた県中央メーカー集

会では鈴木孝典県労連議長が主催あいさつを行い、物価上昇を超える賃金や年金の引き上げを求め、野党候補が完勝した4月28日投票の衆院3補欠選挙にふれ、「市民と野党の共闘を盛り上げて新しい政治を」と呼びかけ、2月に結成したハピラ



インふくい労働組合の委員長が「よりよい労働環境、よりよい鉄道設備をつくりたい」とのべると「頑張れ」と激励の声がかかりました。日本共産党の、かねもと幸枝県書記長(衆院1区)が連帯あいさつを行いました。

生活保護 適正運用を

反貧困連絡会は4月10日、坂井市に対し、生活保護制度について、「貧困問題の改善に向けた適切な運用」を要望しました。鈴木孝典代表委員らが市役所を訪れました。(写真)

鈴木氏は①生活保護の受給希望者の申請はもれなく受け付ける②扶養照会は保護の要件ではないことを明らかにする③11項目



を要望しました。特に、今年度、社会福祉協議会に委託して取り組む生活保護受給者に対する金銭管理支援に対し、「強要することがないように」と求めました。福祉総合相談課の半田信哉次長と佐藤康弘参事が応対し、金銭管理支援について、「家計改善支援で対応できない人に踏み込んでやる」とのべ、「通帳を預かることまではしない。買い物など支払いに同行する」と説明。さらに支援は「本人の同意、守秘義務を社協と徹底していきたい」とのべ、第三者の同席も「本人が望むならば拒むつもりはない」と答えました。

復興遅々 行政無策

小池局長被災地に救援募金届ける

井上、藤野氏同行

日本共産党の小池晃書記局長は5日、能登半島地震で被災した石川県輪島市と珠洲市を訪問し、党が呼びかけた救援募金を義援金として届けました。井上哲士参院議員、藤野保史前衆院議員、佐藤正幸石川県議、鏝（あぶみ）史朗輪島市議が同行しました。

小池氏は、輪島市の漆塗り「大徹」の八井貴啓（やつい・たかひろ）

さん（54）の仮設工房を訪ねました。八井さんは全壊した工房から、道具類、塗り直しを依頼されていた祭り用の兜（かぶと）など取り出せるだけ取り出したといいます。「作業場がないと仕事ができないので助かりました」といいます。「いちばん困っているのは資金面」と話し、公費による支援を要望しました。

小池氏は、金沢市の金沢駅前出張朝市を開催していた、輪島市朝市組

合の富水長毅（とみず・ながたけ）組合長に義援金を渡しました。富水さんは「現在190人の組合員がいます。義援金はとてもありがたい」と語りました。「見ての通り、朝市で人気の魚はありません。漁港が隆起して漁に出られない。復興には長い時間がかかります。みなさんに忘れられないよう、また金沢市内で出張朝市をしたい」と話していました。

寄ってきたのは輪島朝市内で老舗菓子店を営んでいた塚本民子さん（73）。「全部焼けて何もなくなりました。ぜひ国会で輪島朝市の現状と復興をとりあげてほしい」と訴えました。輪島朝市通りは、がれきで埋めつくされてしまいました。小池氏は「震災から4カ月がたっているのに、いまだに震災直後のような光景に驚き、行政の無策に怒りを覚える。このような状況を放置しながら、被災者に『自立』を強要するなど許されない。政府は被災者支援に全力を挙げるべきだ」と語りました。



石川県の馳知事は「自立の時に来ている」などと発言しているそうです。が、とんでもありません。現場に来て、被災者のみなさんの話を聞かざるべき！

被災地に物資届ける

日本共産党福井県委員会

日本共産党福井県委員会としては、地震発生から3カ月が経った4月4日、第1陣の支援に入りました。石川県羽咋市に開設された共同支援センターに物資を届け、各地を視察した活動をレポートします。

（かねもと幸枝）

被災地に物資届ける

この日は、朝7時半過ぎに福井市の党県委員会事務局を4人で出発し、

2時間半ほどかかってセンターにお米3俵半、水野菜ジュース、紙皿、ラップ、コーヒール、菓子などを届けました。お米は、4人の同志から提供されたもので、事前に3キップずつ小分けして袋に詰めました。水の提供もありました。ほかにも同志や支持者から寄せられた共同センター活動支援募金で、購入させていただきました。ありがとうございます。



紙おむつは、昨年10月に他界した母に生前にいただいたものの使わないうままだったものです。能登のみなさんに使っていたのであれば、値打ちがあります。

共同支援センターを後にして、輪島市に向かい、のと里山街道をひた走り、道路は、いたるところに段差があり、緊急補修されているにもドンドンと車が受ける衝撃が体に伝わり、道路の傍らには右も左も崩れていて、片側一車線の通行になっていました。山の背を通るような怖いところ、土砂崩れ、陥没や、その復旧工事の現場を見ると、1月1日の地震発生直後が

想像され、背筋が寒くなりました。そんな状況にもかかわらず輪島市まで入った藤野やすふみ前衆議院議員は決死の覚悟だったのではと察します。

午後1時、輪島市役所で日本共産党の鏝（あぶみ）史郎市議と合流しました。鏝市議の案内で、市内の被災現場や避難所などを視察しましたが、鏝市議自身も被災して精神的にも肉体的にも大変な状況です。大変申し訳ない気持ちです。

地震と火災にあつた「輪島朝市」通りは、風下となって焼けてしまったところと、風下にならず残ったところとの違いがくっきり。ただし、残ったところでも揺れの被害は免れま



火災がなかった別のお宅では、1階がつぶれたもの。こたつの中にもぐりこんだ高齢女性が九死に一生を得ました。朝市の近くの輪島マリィンタウンには仮設住宅の建設が始まっています。

た。この入居者は、抽選ではなく、焼け出された「朝市」通りのみなさんが困まって入居予定とのこと。輪島マリィンタウンでは、海岸に近い新しい造成地の方は液状化被害が少なく、内陸側の地域の方は被害が大きい。歩道が隆起してここに、マンホールの隆起が、道路にも、歩道にも、河川の堤防の隆起も起こっていました。地震のエネルギーの大きさに、あらためて身震いします。

被災現場 農業 市内の農村地帯にも足を運びました。鏝市議が田んぼを見つめながら語りました。「ここは、また春の田植えをしていないでしょ。地震で用水路が壊れているから、水が取れないんですよ」。紙幣を参院議員が先日、地震による能登の農業被害の実態を国会の質問で取り上げてくれました。わが家も農家だから実感としてわかりますが、お米を作っても採算が取れないのに、どうして「自力」で用水路をなおしたりでますか！

ただでさえ、低い食料自給率。能登で農業が再開できるよう、5月に田植えができるように、国の強力な支援が必要です。被災現場 漁業 輪島漁協にも出かけました。倉庫や市場内に入

る道路が陥没してしまし、海水が隆起し、ブロックが浮き上がっています。隆起した部分は、もうなっ機械が貸し出されておりました。

お金を使うなら、こういうものに。災害発生時の設置は必須です。食料も備蓄も大事。仮設トイレも、女性専用を造るセンター平等の視点が大事です。

被災地に冷たい馳知事 福井市や坂井市をコースに実施された「ふくい桜マラソン」（3月31日）に参加した人が「石川県の馳知事が現れて、スターターをしていただいたんだよ」と教えてくれました。「えっ、ちょっと」あ

被災現場 避難所 輪島市内の避難所にも伺いました。みなさんが避難するとき、まずトイレがあることが大事だったことや、一時は750人の人が身を寄せ、大変なギョウギウギ状態であったことをお聞きしました。仮設住宅の建設が始まっていますが、鏝市議と話をしましたが、2年しか仮設住宅に住めないことに不安な様子を話しました。

岩手県などから、水を循環させて再利用させる

支援募金 支援センターのお願い 支援物資を購入手に支援センターに届けます。支援募金で必要な品物を購入します。支援物資を募集します

お米ペットボトルの水、生鮮野菜、レトルトカット、洗剤などの生活用品、衛生用品、衣類、夏物、新品かクリーニング済、下着類、新品など。